

報道関係者 各位

放送批評懇談会

**発表！2020年8月度ギャラクシー賞月間賞**

放送批評懇談会が日本の放送文化の質的な向上を願い、テレビ、ラジオの番組、関係者を顕彰する「ギャラクシー賞」。ことしで58年の歴史を誇ります。

ギャラクシー賞テレビ部門では、「ギャラクシー賞」活動の一環として、毎月、自主的に番組を推奨する「月間賞」を選定しております。今月の月間賞を別紙のとおり発表いたしますので、貴媒体でお取り扱いのほどお願い申し上げます。

ギャラクシー賞テレビ部門は、この日常視聴に基づく「月間賞」と、各社からの応募作品を併せて審査を重ね、毎年の受賞作を決定いたします。

今後の選考にもご注目いただければ幸いです。

●放送批評懇談会について：1963年の発足以来、評論家、ジャーナリスト、マスコミ研究者などを会員に、各種の活動を展開しております。「GALAC（ぎやらく）」の編集・発行、優れた番組・CMを顕彰する「ギャラクシー賞」の選考・運営、メディア界の動きを解説するセミナーやシンポジウムの開催などを行なっています。

●過去の受賞作をお探しの場合は「ギャラクシー賞データベース (<https://houkon.jp/galaxy-database/>)」をご活用ください（掲載内容：作品名、放送局・制作社名、制作者、出演者、受賞理由など）。

放送批評懇談会

ASSOCIATION OF BROADCAST CRITICS

◆お問い合わせ先

放送批評懇談会／担当：福島

〒160-0022 新宿区新宿5-10-14 中村ビル2F

Tel：03-5379-5521 Fax：03-5379-5510

kondankai@houkon.jp <https://houkon.jp/>

放送批評懇談会



2020年8月度ギャラクシー賞月間賞

「有吉の世界同時中継～今そっちってどうなってますか?～」

8月13日放送 19:58～21:48 テレビ東京

バラエティ番組から海外ロケが消えて久しいなか、現地の“日本大好き外国人”にロケをお任せ。「素人」「外国人」に強い同局ならではの挑戦でコロナ禍の出入国と撮影ビザの壁を突破し、世界12カ国との同時中継で海外の今を伝えてくれた。固定概念をなくせば、下準備と勇気次第でできることはまだあるという可能性を示した。

報道特集 戦争と感染症②「戦争が広げた2つの熱病」

8月15日放送 17:30～18:53 TBSテレビ

ガダルカナル敗戦の原因は軍事力ではなく衛生管理の杜撰さだったというテーマが今日的。日本は傷病兵を厄介者扱いして仲間が殺すこともあったというのが、今の日本にも通じる。コロナ禍だからこそ掘り起こされた過去の失敗から私たちは学ぶことができるのだろうか。

国際共同制作 特集ドラマ「太陽の子」

8月15日放送 19:30～20:50 日本放送協会

核物理学者たちが「お国のため」という大義名分ではなく、核分裂によって発生する美しい光に魅せられたり、教授の語る夢に感化されながら核開発に邁進していくのがリアルで恐ろしかった。純朴さと狂気を併せ持った主人公を演じる柳楽優弥の演技力、対照的な三浦春馬の端正さと有村架純の強さ、田中裕子の凄みも素晴らしかった。

NHKスペシャル「忘れられた戦後補償」

8月15日放送 21:00～22:00 日本放送協会

日本は空襲被害者をはじめとする民間の戦争被害者に対する補償を放棄しており、「戦時災害援護法」も14回廃案となってきた。戦後すぐに「連邦援護法」を制定した旧西ドイツやイタリアなどとは対照的である。「個人の被害に向き合うことは民主主義の基礎である」というドイツの歴史学者の言葉が心に残った。